

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	アラノンジ
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	再発又は難治性のT細胞急性リンパ性白血病
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-17
登録日・更新日	2018年10月23日
削除日	
出典	アラノンジ添付文書 ノバルティスファーマ社内資料 BLOOD, 15 JUNE 2007 VOL 109, NUMBER 12 5136-5142
入力者	高松宏行

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名(商品名)	一般名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	アラノンジ静注用	ネララビン	250mg	1500mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間以上	day1,3,5

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1 日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【開始基準】 Ccr\geq50mL/min T-Bil\leq2ULN</p> <p>【延期基準】 ANC\leq1,500/mm³、Plt\leq10万/mm³</p> <p>【中止基準】 グレード2以上の神経系障害 ※神経毒性以外の重度な副作用が発現した場合、休薬期間の延長又は投与を延期するなど、適切な処置を行うこと</p>
前投薬	
その他の注意事項	<p>本剤は希釈せずに使用すること。</p> <p>本剤と他の抗悪性腫瘍薬との併用に関する有効性及び安全性は確立していない。</p> <p>本剤投与後に、傾眠あるいはより重度の意識レベルの変化、痙攣などの中枢神経障害、しびれ感、錯感覚、脱力及び麻痺などの末梢性ニューロパシー、脱髄、ギラン・バレー症候群に類似する上行性末梢性ニューロパシー等の重度の神経系障害が報告されている。</p> <p>これらの症状は、本剤の投与を中止しても完全に回復しない場合がある。神経系障害に対しては特に注意深く観察し、神経系障害の徴候が認められた場合には重篤化するおそれがあるので、直ちに投与を中止するなど、適切な対応を行うこと。</p>

記入者	高松宏行
確認者	竹内正美